



体育祭や運動会等における

熱中症事故防止に向けた取組事例

各学校では、熱中症事故防止に向けた様々な取組が行われています。このたび、体育祭や運動会等における熱中症事故防止に向けた取組事例をまとめましたので、ぜひ参考にしてください。

【取組1】プログラムの工夫

- 気象状況によっては、プログラムの変更や中止等があることを、児童・生徒や保護者等に対して、事前に周知
- 開始時刻や終了時刻の繰り上げ
- 競技や種目の精選
- 午前中に応援合戦や全員が参加する団体種目を実施



【取組2】児童・生徒への指導（事前、実施中）

- 体調不良を感じた際、無理をしないように指導
- 水分・塩分補給、帽子の着用、日陰での休憩等について指導
- 睡眠時間、朝食等の重要性について指導
- 競技等の後に、休憩所（冷房設備、オンライン中継あり）に行き、体を冷やすよう指導



【取組3】教員の留意点

- 暑熱順化*を考慮した指導計画（練習、予行など）の作成
- 実施計画に、全校又は学年ごとの水分補給の時間を明記

*…体が暑さに慣れること



【取組4】会場の工夫

- 冷房設備のある教室や体育館等を休憩所として開放
- 応援席にテントや遮光ネットを設置
- 会場内にミストを設置



<参考>「熱中症対策ガイドライン」（令和4年7月 東京都教育委員会）

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/physicaltraining_and_club_activity/files/accident_prevention/heatstroke_guidelines.pdf

